



>>>> HEADLINE カスタムエンジンの最尖端

OPEN THE HOOD



>>>> COVER CAR TOYOTA SPRINTER TRUENO × E.PRIME

>>>> OTHERS BAGGED CAMP / LOUD STANCE PARK / STANCE FLASH

スタンス2大イベント総カリポート

STANCENATION JAPAN AICHI (Entry Cars / Award Cars / Exhibitors) & WEKFEST JAPAN

8
2022
AUG.

Stance #52 8 2022

スタンス・マガジン8月号

2022年7月10日発行発売(隔月奇数月10日発売)
発行人/宮崎有史 編集人/奥田裕司

発行所/株式会社ブライド 〒170-8427 東京都豊島区東池袋2-45-9 英文社注文センター
広告及び内容についてのお問い合わせ ☎03-5992-2057 (第二編集部)

〒03-5697-0220 FAX03-5697-0221

特別定価1500円(本誌1364円+税10%)



GIAS III



深いショルダー&ニーサポートで、
ホールド性と快適性を
飛躍的に進化させた
ストリート最強の
スーパーセミバケットシート、ガイアスⅢ。
GIAS III

- ¥231,000~¥291,500(税込)
- スチールフレーム
 - FRP製シルバースhell/スーパーアラミド製ブラックshell
 - 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
 - 難燃生地●スタンダードクッション/ロッククッション
 - 保安基準適合モデル●日本製
 - 着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては、対応できない場合があります。
 - FRP製重量:約14.0kg/
スーパーアラミド製重量:約14.0kg(※参考値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様

車検もOK!



BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.
ブリッド株式会社

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号 電話.(052)689-2611 ファクス.(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

写真のモデルは、GIAS III(スタンダードクッション)・FRP製シルバースhell・レッド(G61BSF)です。
2022年5月1日からの価格です。
ブリッドの最新情報は、こちら! <http://bride-jp.com>

雑誌コード 05401-08



ZIEG IV

- ジーク・フォー
 ■価格：13万7500～19万5800円
 (ワイド：14万8500～20万6800円)
 ■カラー：ブラック / レッド / グラデーションロゴ
 ■シェル：FRP製シルバースhell /
 スーパーアラミド製ブラックシェル

ラウンド形状のバックレストを採用。ZETAと比較して、より深い着座ポジションとアイポイントを下げた着座姿勢となるなど、サーキット走行を重視した設計としている。



ZETA IV

- ジータ・フォー
 ■価格：12万3200～18万1500円
 ■カラー：ブラック / レッド / グラデーションロゴ
 ■シェル：FRP製シルバースhell /
 スーパーアラミド製ブラックシェル

標準的・平均的なシェル形状で、幅広いカテゴリのレースで使用できるオールマイティなモデル。従来モデルと比較して、LOW MAX対応、ショルダー幅を約30mm小さくするなど、着座ポジションの最適化や適合車種の拡大を図った設計としている。



XERO CS

- ゼロ・シーエス
 ■価格：12万6500～18万4800円
 ■カラー：ブラック / グラデーションロゴ
 ■シェル：FRP製シルバースhell /
 スーパーアラミド製ブラックシェル

頭部を守るXEROシリーズの中型ヘッドガードを装備したモデル。Sラインのバックレストと深いサイドサポート形状により、背骨を伸ばしたアイポイントが高めの着座姿勢と高いホールド性能を併せ持った設計としている。トラックスタンスなど、走り的印象付けたい人にはマストなアイテムといえるだろう。



XERO VS

- ゼロ・ブイエス
 ■価格：12万6500～18万4800円
 ■カラー：ブラック / レッド / グラデーションロゴ
 ■シェル：FRP製シルバースhell /
 スーパーアラミド製ブラックシェル

頭部を守るXEROシリーズの小型ヘッドガードを装備したモデル。ショルダー幅が小さく、多くの車種への装着が可能。起こしたバックレストと浅いサイドサポート形状により、アイポイントが高めの着座姿勢と乗降性の良さを併せ持った設計としている。



ストリートからレースまで

FIA競技ではすでに義務・推奨となっているヘッドガードは、側面視界の関係で大きすぎるものは公道走行不可になる。しかしVS、CSに関しては公道仕様可能なサイズに収められている。



ジータとジークの違いは背面に!

シェルデザインをより深く、猫背形状の着座姿勢を作るジークIVに対し、ジータIVは比較的素直な座り心地となる。高身長ドライバーなどはジークIVの方が収まりもよくなるため、ドライビングポジション作りに合わせて選択することをオススメしたい。

GR86に装着して比べてみた

今最もフルバケが似合う最新モデルといえばGR86。2ドアクーペとのマッチングは見た目似合うだけでなく、その走りを存分に楽しむための必需品というわけだ。各モデル共に無理なくジャストフィットするサイズ感も、日本人そして日本車に向けたアイテムだから。



ゼロCS

ゼロVS

ジーク

ジータ

ドリキンコラボもリリース!

ジータIVの設計はそのままに、ドリキンこと土屋圭吾氏とコラボしたスペシャルエディションもラインナップ。土屋氏のイメージカラーのグリーンを取り入れた表皮デザインは、「KING」や「職人」といった愛称が刺繍で施されるのが特徴。

ブリッドの真骨頂
 フルバケットに迫る!

フルバケットで人馬一体!



ブリッド代表 高瀬氏

BRIDE®

“フルバケットシート”調査

ブリッドの代名詞であるフルバケットシート。すっぽり包み込まれるような形状で一度座ったら手放せない人馬一体感は読者諸兄らも経験があるだろう。今も売れ続けるフルバケットシートにはどんなメリットがあるか、なぜ売れ続けているのかを調査だ。

source: ブリッド 052-689-2611
 https://bride-jp.com/
 photo: Hiroataka Minai



純日本製のスポーツシートメーカー「ブリッド」は1980年代初頭、日本のチューニングカー文化が産声をあげるとともに誕生した歴史あるメーカー。さらには、日本のレース&チューニングシーンを支え続ける唯一無二の存在なのである。

そんなブリッドのアイデンティティともいえるのは、メジャードライバーからも信頼されるバケットシートだ。というのも、ブリッドのシートは日本人の骨格に合わせて設計された、日本人向けモデル。海外主要シートメーカーの製品と比べると、その収まり具合が絶妙にマッチするのだ。

特にレースシーンでは腰元や上半身がブレてしまうと、それだけ動作にタイムラグが生じてしまい、コンマのタイムを削いでいる中では不利になってしまふ。トップクラスのレーシングカーともなると、ドライバーの体に合わせたシートがワンオフされることもあるほど、重要なパーツだからこそ、日本人に合わせた設計が効いてくる。

もちろん、前述の通りシートシェルは職人によって作られ、表皮の縫製に至るまで日本国内で行う自社製。加えて使用するファブリックも時代に合わせた最新ものを選択することで、ズレにくさから耐久性までカバー。設計から品質に至るまでジャパンプクオリティで仕上げられている。求められる性能を發揮し、さらに高品質をキープする姿勢は、並の海外ブランドじゃ太刀打ちできないというわけだ。